

かたりつぎ

Katari-tsunagu

朗読と音楽の夕べ

東日本大震災の「語りつぐ記憶」

あれから5年が経とうとしています。
悲しみを乗り越え希望が芽り始めた一方で
現在も19万人以上の人々が
避難生活を余儀なくされています。
あの日の記憶、そして今を生きる人々を
今年も、竹下景子さんがかたりつぎます。



竹下 景子



飯川 直美



高塚 美奈子

2016年 **3月6日** (日)

開場 **13:00** 開演 **14:00**

会場 **宮城学院女子大学 講堂**

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1 TEL.022-279-1311 (代表)

アクセス

<宮城交通>

- ◆仙台駅から【所要時間：約30分・料金350円】
A：西口バスプール3番「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車。
B：西口バスプール2番「宮城大学・社会保健福祉専門学校前」行乗車→「宮城学院前」下車。
- ◆地下鉄旭ヶ丘駅から【所要時間：約10分・料金230円】
3番バス停「東原山団地前由宮城学院前行」乗車→「宮城学院前」下車。

<仙台市営バス>

- ◆地下鉄中央駅から【所要時間：バス約10分+徒歩7分・料金250円】
1番バス停「聖和短大」または「実業堂前」行乗車→「上谷刈山駅」下車

お帰りの際は「地下鉄旭ヶ丘駅行き」の臨時バスをご利用ください。

主催：東北大学災害科学国際研究所/宮城学院女子大学/かたりつぎ仙台実行委員会/復興支援コンサート実行委員会

共催：仙台市/多賀城市/（一財）アーツエイド東北/

後援：復興庁宮城県復興/宮城県/岩手県/福島県/石巻市/大船町/田野畑村/南相馬市/葛尾村/多賀城市教育委員会/NHK仙台放送局/ミヤギテレビ/仙台放送/

TBC東北放送/KHB日本放送/河北新報社/朝日新聞仙台版/毎日新聞仙台支局/東北新報東北版/産経新聞東北版/FM仙台/（公財）仙台市市民文化事業団

協賛：石炭パン工房ばーすでい/積水ハウス株式会社/凸版印刷株式会社

お問い合わせ **東北大学災害科学国際研究所 災害アーカイブ研究分野 TEL.022-752-2099**

メールアドレス | Katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

入場無料・要申込

全席自由

※事前の申込みが必要となります。
詳しくは裏面の申込み方法をご覧ください。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

出演 **【司会】 六華亭 遊花 (漫才家)**

【朗読】 竹下 景子 (俳優)

【挨拶】 平川 新 (宮城学院女子大学長)

【講演】 戸野塚 厚子 (宮城学院女子大学副学長)

【報告】 柴山 明寛 (東北大学准教授)

【演奏】 飯川 直美 (バイオリン)

高塚 美奈子 (ピアノ)

【合唱】 宮城学院女子大学学芸学部音楽科生





黒板 竹下 景子

名古屋出身。東京女子大学卒業。1973年NHK大河テレビ小説『波の魂』で本格デビュー。テレビ・映画・舞台への出演のほか、2005年に日本国際研究協会「美・地球博」日本代表団員を務めるなど幅広く活動。1999年より14年にわたり参加した阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートに、発刊20年の2015年1月、3年ぶりに参加。2012年3月より東北での「楽団と音楽の夕べ」に参加。今年5歳目となる。



バイオリン 飯川 直美

1991年仙台市生まれ。宮城学院中学校卒業。朝陽女子高等学校音楽科卒業後、渡仏。パリ地方音楽院に入学し専攻員養成一級の高成績で卒業と同時に、パリ国立高等音楽院に入学。2012年パリ市庁舎で行われた記者会見にて、東日本大震災の復興で作られたヴァイオリンを披露し、コンサートを行う。フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、パリ警察楽団アカデミー生。現在、パリ国立高等音楽院修士課程在学中。



ピアノ 高塚 美奈子

宮城学院女子大学音楽科卒業。研究科修了。これまでに野沢真弓、林勇光の各氏に師事。モーツァルトウム音楽大学夏期講習にてハンス・ライグラブに指導を受ける。第9回日本ピアノコンクール全国大会特別賞。現在、宮城学院女子大学、東北文化学園大学、石巻専修大学、仙台状況保育専門学校各非常勤講師、尚新音楽教室講師。(社)日本演奏連盟会員。(社)全日本ピアノ指導者協会 (PTNA) 正会員。



司会 六華亭 遊花

三遊亭遊三門下。落語芸術協会仙台事務所所属。平成24年4月落語家としてデビュー。号名は「嵐嵐に負けず、東北六郷郷からく」の意味。古典落語、民謡をベースにした東北弁の落語家は人気が高く、落語落語会などで人気を得ている。宮城学院女子大学日本文学科卒。

合唱 宮城学院女子大学学芸学部音楽科



音楽科を代表して、当日は学生・研究生からなる合唱団が出演します。普段の授業を通して養った響きを、ぜひお楽しみください！

今年もステージには加川広重さんの東日本大震災巨大水彩画を設置します。タイトルは「フクシマ」。(作品サイズ:5mm400mm×16mm500mm/2013年)ロービーでは様々な復興への取り組みも展示いたします。東北大学災害科学国際研究所では、3・11記念事業として震災の「かたりつぎ」を継続し、防災・減災教育として大切なメッセージを伝えつつ、明日を生きる勇気や希望を感じられる事業としていきたいと考えております。

竹下景子さんは、阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートで、詩の朗読を続けてこられました。東日本大震災を受け、この催事は東北に引き継がれ今回が5回目の開催となります。東北大学災害科学国際研究所の「みちのく復興伝」が集めた被災者の思いを竹下景子さんが詩のメッセージとして朗読します。

特別講演 『宮城学院の震災後の取り組み紹介』

宮城学院女子大学副学長 戸野塚 厚子



宮城学院女子大学学芸学部教授(2016年度より教育学部教授)、教育学博士(筑波大学)、筑波大学文化官・助手を経て1993年に本学に就任。養護教諭、小学校教諭を目指す学生、大学院生の授業を担当している。主要著作『スウェーデンの義務教育における「共生」のキャリアラムー Sarnievrad の理念と展開』(早稲草、南石書店、2014年)、『スウェーデンの共生のための義務教育課程に関する研究』(早稲草『キャリアラム研究』15,2009年)等。



報告 「みちのく復興伝の取り組み」

柴山 明寛 (東北大学准教授)

報告員 加川 広重



宮城専攻王町出身。武蔵野美術大学油絵科卒業。震災を巨大絵画で表現し伝えていく活動を行っている。2013年より被災地をめぐりプロジェクト「加川広重巨大絵画が響く東北と神戸」をデザインクリエイティブセンター神戸にて3度開催。平成24年度宮城県芸術家新人賞。

証言発表 水月 りの

演出 志賀野 桂一

舞台監督 白津 守康

応募方法 締切/2016年2月20日(土) 随時受付

往復ハガキ

往復はがきの往信面の裏に

- ①入場希望者名、②郵便番号、③ご住所、④電話番号をご記入のうえ、お申し込み下さい。

※はがき1枚につき

1名の入場が可能

<input type="checkbox"/> 往信 〒980-8799 仙台中央郵便局 「かたりつぎ」係	<input type="checkbox"/> 返信 この欄は 記入不要です。
---	--

往信(おもて)

返信(うら)

<input type="checkbox"/> 往信 あなたのご住所 あなたのお名前	<input type="checkbox"/> 返信 ①入場希望者氏名 ②郵便番号 ③ご住所 ④電話番号
---	---

往信(おもて)

返信(うら)

メール申込み

メールアドレス

katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

上記のメールアドレスへ①イベント名、希望人数②住所③氏名④電話番号をご記入のうえ、お申込みください。

往復ハガキ・メールでの申込みが難しい場合

FAX申込み

FAX.022-752-2100

※できるだけ上記の方法にご協力ください。